

令和2年度 第26回小樽支部高等学校秋季テニス大会

兼 第42回北海道高等学校秋季テニス大会 小樽支部予選会

開 催 要 項

主 催 小樽テニス協会
共 催 高体連小樽支部

- 1 期 日 令和 2 年 9月12日 (土) 午前8時20分 顧問会議 (晴雨にかかわらず集合)
午前8時40分 開会式
午前9時00分 競技開始 (団体戦・個人戦ダブルス・シングルス)
9月13日 (日) 午前8時30分 競技開始 (個人戦シングルス・閉会式)
予備日 9月19日 (土)
- 2 会 場 小樽市からまつ公園テニスコート
- 3 競技規定 日本テニス協会規定による。
- 4 参加資格 1) 北海道テニス協会並びに北海道高等学校体育連盟に加盟する学校、または高等専門学校で各支部高体連テニス専門委員より推薦された学校の生徒であること。
2) 参加選手は2002年4月2日以降出生の者で、該当校の1、2年に在学中の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとし、同一競技の出場は2回までとする。
3) 団体チーム・個人チーム(複)の構成は、単一高校の生徒であること。(全日・定時の混成は認めない。)
4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、高体連小樽支部長が許可した者は、この限りでない。
5) 出場する選手は在学学校長の出場承認を必要とする。
6) 「主催大会参加災害補償制度」に加入した者、または加入の意志のある者。
- 5 チームの《団体の部》
構 成 1) 各学校から男女各1チームで、監督(当該学校顧問)、マネージャー1人、選手で構成する。
2) 選手は、単の実力順位でNo. 1~No. 9の7人以上9人以内を登録する。複の試合は9人の中で適当に2組を作り、単の試合は他の6人の中で、どの3人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出する。また、単複を同一選手が兼ねることはできない。
3) 小樽支部では、ローカルルールとして、4人以上6人以内でも出場を認める。(ローカルルール参照) ただし、トーナメントの場合、1回戦のみのエキジビションとし、勝ち上がりはないものとする。また、リーグ戦の場合は全試合を行うが、全道大会への代表権はないものとする。
- 《個人の部》
1) 各校男子、女子とも実力順に単6人・複4組以内とする。
2) 個人戦シングルスのみ出場者は、審判要員として補助員1名を随行させること。
- 6 競技方法 1) 団体戦は複2組、単3人とし、トーナメントで行う。ただし、参加校が3チーム以内の場合はリーグとする。初回戦は勝敗にかかわらず5試合すべて行う。それ以降は3ポイント取得後打ち切りとする。試合順は、シングルスNo.1、ダブルスNo.1、シングルスNo.2、ダブルスNo.2、シングルスNo.3とする。
2) 個人戦は、単・複ともにトーナメントとする。
3) 1セットマッチで行い、6ゲームオールの場合は、ITF方式 7ポイントタイブレークとする。
4) 試合球: WILSON「US OPEN EXTRA DUTY」とする。
- 7 参加料 シングルス 1, 500円、ダブルス1組 1, 500円 大会初日に持参すること。
- 8 申込み 1) 所定の用紙に必要事項を入力し8月27日(木)正午必着で専門委員 林へメールすること。
2) メール宛先: 岩内高校 林 哲平 メールアドレス: tetsu884@hokkaido-c.ed.jp
3) 事務局: 岩内高等学校(〒045-0012 岩内町宮園43番地 ㊚0135-62-1445)
4) 職印を押した正式申込書は、大会当日受付時に事務局へ提出すること。
- 9 組合せ 8月29日(土)午前9時より、岩内高校会議室において専門委員会決定する。
- 10 その他 1) 服装はテニスウェアとし、腰部に葉書大の校名入りマークを明示する。
2) ガットマークの使用は禁止する。
3) 審判は敗者審判を原則とする。
4) コールされて5分以内にコートに入らなければ失格とする。
5) コートには、競技者・審判員・ボールパーソン(シングルスのみ)以外は入場できない。ただし、団体戦では登録された監督1名または選手1名がベンチに入ることができる。
6) 試合前の練習はサーブのみとする。
7) 団体戦の優勝校には優勝杯(持ち回り)と賞状を、2位・3位には賞状を授与する。個人戦単複1位~3位には賞状・メダルを授与する。
8) 大会の成績は来年度の高体連団体戦および個人戦のシードの資料とする。ただし、団体戦のエキジビションで参加した学校にはシード権はないものとする。
9) 大会は高等教育の一貫としてふまえ、著しく他に影響を与えるような頭髪の染色や華美な装飾品(ピアス等)の着用などは原則認めない。
10) 公式練習は、午前7時30分~8時20分。コート割り当ては専門委員で行い、後日連絡する。
11) 全道大会は、10月13日(火)~16日(金)帯広の森公園庭球場で行われる。全道大会の出場枠は団体男子2校、女子1校、個人男女シングルス各2名、男ダブルス3組、女ダブルス2組
12) 選手が欠場の場合、開会式前の顧問会議までに次の要領で選手の補充を行う。なお、顧問会議以降の変更は認めない。
i) シード選手が欠場した場合は繰り上げドローとし、第4シードに補欠シードを入れる。補欠が抜けた場所には、欠場当該学校の生徒を補充してもかまわない。シード選手が2名以上欠場した場合、繰り上げし、残りのシードはbyeとする。
ii) シード選手以外の欠場の場合は当該学校の生徒を補充しても良い。この場合ダブルスのペア変更も認める。
13) 新型コロナウイルス感染症対策として、北海道高体連テニス専門部HPにある『STOP 感染拡大-COVID19-』を確認すること。特に、大会2週間前からの検温チェック等を記録表に残しておくこと。引率責任者の先生は部員全員の検温チェック一覧表を作成し、顧問会議にて提出すること。